

66

オレンジイノベーション・アワード2025 製品・サービス賞

認知症当事者との 「共創」が生んだ靴下

株式会社大醐

 Unicks





後藤 裕一

株式会社大翻

自己紹介



事業内容

繊維製品（靴下）の製造・販売



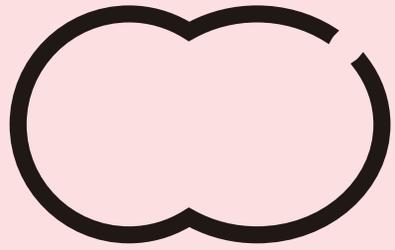
拠点

愛知県 名古屋市 北区



展開ブランド

Unicks、絹屋、グルメシルク、
涼綿、いとをかし 他



絹屋

きぬや





**「ちょっとした不便」を
解決する靴下。**

特徴

よく伸びて
すると
足が入る



配色で
履き口が
すぐ分かる



カカトがなく
どの向きからも
履ける



すべての社会課題は、 自社と関係がある



社会課題とは
必ずどこかで
接点がある



「自分には関係ない」
とは言わない



認知症フレンドリー
コミュニティへの
一歩を踏み出す

「靴下がうまく履けないから外出するのが
億劫になってしまっんです。」

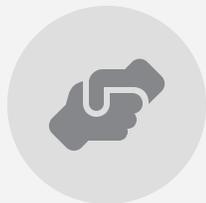
認知症当事者の方の声

📍 STARTING POINT

この一言がすべての始まりでした。
靴下一枚が、社会とのつながりを左右するのです。

”

市場の空白（気づかれなかった課題）



既存の製品

**介護する人が
履かせやすい靴下**

市場に多数存在。
しかし、「される側」の視点に
留まっている。



新しい価値 (UNICKS)

**本人が
自分で履ける靴下**

ほとんど存在しなかった市場。
自立支援と尊厳を守る
本当のニーズへの回答。

共創の歴史



2021

第1弾 発売

「自分で履ける」
初の製品化

当事者との対話



2022-24

改良・進化

第2弾・第3弾
モデルチェンジ

「選択肢がほしい」の声



2025 夏

第4弾 最新モデル

3種類の選択肢
(薄手・中肉・厚手)

意外な発見（社会への広がり）



認知症の方

履きやすさ

上下・前後を気にせず、
無意識に足を通して
正しく履ける安心感。



作業現場の方

耐久性

毎日少しずつ回して履くことで
一か所に穴が空くのを防ぎ、
長持ちして経済的。



若者・忙しい方

利便性

「どっちが前？」と
考えなくていい。
忙しい朝のストレスフリー。

インクルーシブデザイン



ひとりの「困り事」が みんなの笑顔に繋がる

たったひとりの困り事に徹底的に向き合う。
そこから生まれた製品は結果として
誰もが使いやすいものになる。



今後の展望



新たな挑戦：「下着」の開発へ

靴下で培ったノウハウを活かし、毎日身につける「下着」の課題解決に取り組みます。



認知症当事者を「共創パートナー」に

単なるモニターではなく、製品開発の主体として共に歩み続けます。



誰もが自分らしく一歩を踏み出せる社会へ

「できない」を「できる」に変え、明るい気持ちで外出できる日常を届けます。



ありがとうございました。

🏆 オレンジイノベーション・アワード2025 製品・サービス賞



商品購入はこちら

<https://www.daigowebshop.com>



ORANGE
INNOVATION
AWARD